発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番 7140番
編集兼発行人　境　孜

戦後最高、六百万が参加
明るい未来を確信
第32回メーデーおわる

みんなの幸せをひとりひとりの抵抗で

笹林公園の会場正面の舞台には、メーデーにふさわしく労働者、農民、市民の大群像を描いた巨大な絵が舞台にかざられ、これまでのメーデーには見られぬ明るい力強さを会場に与えていた。

定刻午前十時近くになると、各組合がぞくぞくと入場してくる。いろどりどりの風船を手にする組合員・家族、それぞれの要求を掲げたプラカードが会場一杯にあふれ会場はじだいに華やかな色彩にあふれ出した。

三池労組では、この日はいつもの鉢巻をネクタイに替え、職場での

デモ　主婦のタイ捕に抗議する警察前の

はげしい抵抗に疲れた様子も見せず、みんな元気あふれる表情でつぎつぎと入場してくる。組合本部の一団は、さきに国際交流オルグ団が中国から贈られた〝紅旗〟を先頭に入場したが、会場入口には主婦会港務支部円井分会の人たちが、闘争費用をつくるためのアイスクリーム売りをやっているのが注目された。

会場は楽しいふん囲気にあふれ、家族づれの参加がとくに目立つた。開会前に舞台上では「有明や節」「新炭坑節」が主婦たちによって踊られたが、入場してくる組合員家族たちはいつもと違つたふん囲気にいささか戸惑つた感じだ、それでも楽しそうに入つてくる。

社会主義社会の飛躍を全世界に示したソ連の人間衛星、社会主義建設を宣言しアメリカ帝国主義の野望を粉砕したキューバ人民の闘いは大会場を埋めたプラカードにかかげられ、池田内閣の物価倍増を反対するのが目立つた。

会場で紅旗を紹介

開会宣言と同時に爆竹がなりひびき、平和の鳩が一斉に飛び立ち五月の空に舞い上つた。

〝世界をつなげ花の輪に〟の大合唱につづき議長団選出、川口実行委員長の挨拶が行なわれた。

ついで細谷市長（代理）、与崎県知事（代理）、社会党代表大洲正気、高松労組代表、向坂逸郎の各氏からメーデーを祝してさらに労働者の団結を固め、われわれの願う社会の実現へ、すべての努力を傾け合うことが述べられた。

「地方自治を守る決議」が自労から提案され満場一致で採択、三池労組の灰原書記員は〝紅旗〟の紹介をして三池労働者のたたかう決意を述べたあと「大会宣言」を行なった。

大会終了後のデモは八列縦隊、実行委員を先頭に整然とそして力づよい行進をつづけた。

第三十一回メーデーは、日本全国、各地ともたたかうメーデーにぬりつぶされてしまつた。

安保と三池が会場で叫ばれ、各地区メーデーに三池支援がもり上つた。全国で五百万の労働者が集まり、大牟田・荒尾では五万人が結集し「弾圧反対、三池を守れ」を決議、デモ隊は警察署前で「弾圧反対」「ポリ公かえれ」とひとさわはげしいジグザグデモをくりひろげた。

不当弾圧で拘置所にいる組合員はメーデーに参加できなかつたが拘置所の中から日刊情報を通してあいさつをおくつてきた。

五月三日、スト突入いらい一〇〇日をむかえ組合員・家族の闘魂はいよいよ高まつてきた。この日、血に狂つた警官たちは、卑劣にも主婦の逮捕に乗り出してきた。白井分会の松尾さんら四名が逮捕された。主婦会から逮捕者を出したのはこれが始めてである。

メーデーがすぎた翌後から三池

あれから一年 (20)
主婦にも弾圧を
卑劣、松尾さんら四名タイ捕

でのデモ隊の気ちがいじみた暴行は、組合員ばかりか主婦におよび、さらに一般市民にまであたりかまわぬばん行をふるうようになつた。

二日夜、四山では無抵抗の組合員に「突ツこめ」の号令でおそいかかり、数十名の負傷者を出した。

これら一連の事件を重視した総評弁護団は、三日夜、声明を発し弾圧粉砕に総力をあげるため総評弁護団の大量集結を決議するとともに、警察権力のあらゆる弾圧とたたかう各組合の婦人部で編成した婦人部隊が先頭につづいた。そろいの赤いスカーフをまとい、若さと健康を誇る行進はデモ隊に精彩を放つていた。

デモには仮装も登場、キューバのカストロや、人間衛星もあらわれ市民から拍手をうけ、全くの明るい楽しいメーデーであつた。

市役所前では各単産の行進ごとに爆竹がなりテープと紙吹雪が庁舎屋上から投げられ、メーデーのエキサイトは最高潮に達した。

第二組合等延命公園で

第二組合、製作労組、三鉱職組は延命公園で「民主労組合同メーデー」と銘打つて延命公園でひらいた。このため大牟田では分裂メーデーとなつたが、延命公園でひらかれたこのメーデーは、大会後そのまま動物園などを解放して、行進はとりやめた。

この日、福岡地裁はホッパーの仮処分の決定を出した。それは組合のピケ説得行為を妨害するなという内容で、仮処分の執行方法に関する組合からの異議申立てが全面的に通つたわけである。これで会社の意図は大半が骨ぬきになつたのであり、同日午後二時総評弁護団も仮処分決定に異議を発し、こんども権力の不当介入を許さぬとの態度を表明した。

さきに検束に心じた谷端支部長ら十三名がこの日釈放をかちとり、直ちに全員任務に復帰した。また、九炭労では五日、三池支援を議題に会議をひらき、十二日に山野、田川を除き全山一せいに時限スト突入を決定。安保阻止第十六次統一行動に歩調を合わせた。

三池と安保はこうして国内各地でかたく結合されていつた。

外国からの支援も相つぎ、ホッパーに六日ソ連の記者三名がおとづれ、激励をおこなつたが、同日、国際自由労連の国際鉱夫連盟からも事務局責任者が三池をおとづれ、物心両面にわたる支援を約束した。

たたかいの進展とともに三池の現地は国際色もゆたかになつてきた。

七日午前九時、執行吏三名がホッパーに公示札を立てにきたが国会議員団、弁護団から不備を追及され追いかえされた。会社官憲がいよいよあわててきた。

会場の皆さん。

ざわやかなすがすがしい五月のそよ風の下に集つた働く仲間たちである同志のみなさん。この一カ年大地評さん下の私たちは、家族たちとともに三池労組に集中された弾圧と分裂を中心とする合理化攻撃に対決する三池闘争の第一線にがんばり、一、二〇〇名の仲間のクビを守るため、生命を惜しまぬ不屈の闘魂をたぎらせ燃やしつづけ、一万三千もの警官隊や、数回にもおよぶ資本一辺倒の仮処分や、暴力介入などのみにくい一切の弾圧に抵抗し、スト破り集団のしゅん動をおさえ、スト終結のその日までホッパーから一かけら一トンもの商品炭の搬出を許さなかつたあの三池闘争の中核としてたたかいぬきました。

労働争議史の上で、永久にぬぐいさることのできない不公正極まるあつせん案により、私たちは一、二〇〇名の仲間たちを原職に復帰させることはできませんでしたが、国内はもとより、海をへだてた兄弟たちとの団結は、今までになく強化され、就職あつせんの政府確約により、いわゆる政策変更の第一歩をすすめ、指名解雇を再びやらせないという痛手を総資本に与える偉大な成果を上げることができました。

いうまでもなく、資本が合理化をあくまで進める以上、私たち働く者の闘いはまだまだつづくはずです。

現に三池労組では就労以来、あまりにも不当な差別、組織介入で苦闘をつづけ、労働強化や保安サボで三名もの殉職という耐えがたい犠牲も強いられ組合活動も大幅に制限され、その上での決定的な減収のため、一人ひとりの組合員や家族が歯を食いしばる辛くて苦しい闘いがつづいていますが、鍛えあげられた仲間たちは自からの正しさを信じ、助け合い、極めて朗らかでいまや反撃を開始しようとしています。

また、一、二〇〇名の仲間たちの就職もやつとスタートを切つただけだし

大会宣言

拡がる速度を加えています。

しかもキューバやラオスやアルジェリヤをはじめとする国際情勢の一切もアメリカをチャンピオンとする資本主義体制の後退をあますところなく、白日の下にバクロされ、不当にしいたげられ、さげすまれている働らく者たちの怒りは、どとうのように盛り立つております。

一方国内では、戦争を呼ぶ安保体制の危険性や自由化問題のシワよせや、所得倍増のデタラメが、物価値上げにたいする反発と共に、いよいよ全国民の非難と反対を自民党政府にたたきつけ、集中しつつあります。

皆さん、世界中いたるところで集会をもつている労働者の祭典、今日のメーデーにあたり私たちは苦しい山坂がいくつかあるとしても、労働者自らの力による大躍進が、今日からのたたかいで、必ず可能だということを確信し未来も働く者の手に確保するため、拠点大牟田の統一と団結を強化するためつぎの三点を本大会の名をもつて宣言したいと思います。

第一　労働者としての共通のたたかいをもつともつと助け合つて闘おう。

第二　働く者とその家族はみんな兄妹です。続せきつき合いであたたかく助け合おう。

第三　みんなが市民と手をつなぎ平和を守る力を急いで熱心に強化しよう

一九六一年五月一日

第三二回大牟田地区統一メーデー大会

一せいに時限スト(8日)
三日の統一ストは延期

炭労指令第三十九号「当面の賃金企反闘争に関する指令」で、炭労全体の統一行動として五月三日に第一波時限ストライキに突入することになつていたが、炭労では戦術委員会を五月三日にひらき、大正闘争の推移と現時点におけるストライキの効果、ならびに一部下部体制の問題もふくめて情勢判断を行なつた結果、これを一時延期することを決定した。

ついで戦術委員会は五日にひらかれ、情勢の発展と下部体制の確立について検討を行なつた結果、五月八日統一ストライキの実施を決定した。それによつて、つぎのような炭労指令中闘第四十八号指令を発した。

統一ストライキ延期並びに実施期日に関する指令

一、三井、三菱、北炭、住友、古河、明治、太平洋、企業連さん下各支部ならびに日鉄二瀬、貝島支部は中闘指令第三十九号にもとずく五月三日の各番方時限ストライキを延期せよ。

二、右各支部は五月八日各番方一時間五十分の時限ストライキを実施せよ。

ストライキの指標ならびに保安要員の取扱いについては中闘指令第三十九号に同じ。　以上

（写真はメーデー会場スナップ）

青婦の活動進む
福岡県青年婦人研究集会にも参加

三池労組には青年婦人部という名称こそないが、サークル活動や職場、地域で第一線に立つて活発に運動を支えすすめている。

福岡県青年婦人労働者研究集会が去る四月二十八、二十九日にわたつて、福岡市の教育会館で行われたが、渉務支部の荒木さんが三池から出席して集会に加わつた。

行動隊を中心とする青年婦人の活動は、いま大きなウエイトをもつているが、活動はこんどさらに活発になろうとしており、サークルの新編成、文化活動の推進がとりあげられ、実行にうつされようとしている。

みいけ日誌

四　月

30日　メーデー前夜祭（大牟田市民会館、荒尾日活館）

五　月

1　日　第32回メーデー

2　日　職対＝東京ビル清掃希望者打合せ

3　日　総務部長会議、炭地協会議（於九本）、職対＝大牟田市長会見

4　日　労働部長会議、職対＝荒尾市長会見

5　日　西鉱連労働部長会議会社交渉、職対＝企業組合農場関係総会

6　日　本部役員会、九本教宣部長会議、大地評委員長会議、職対＝三興タクシー総会